

平成 30 年度 第 1 回南箕輪村地域公共交通会議 会議録

日時：平成 30 年 5 月 23 日（水）
午後 1 時 30 分から
午後 2 時 40 分まで
場所：南箕輪村役場 2 階 講堂

出席者数：委員 20 名中 17 名

欠席委員：白川委員、永井委員、近藤委員

【進行 地域づくり推進課長】

（委 嘱）今回、全員を新規で委嘱する。

任期については、平成 30 年 4 月 1 日からの 2 年間。

1 開 会（地域づくり推進課長）

2 あいさつ（会長：村長）

村の行財政運営の指針である第 5 次総合計画の中で、「住みやすい環境づくりを進める村」を定めており、その中で、生活の足を確保する利便性の高い公共交通システムを整備するとされています。まっくんバスについては、利便性の向上に向けてバス停の新設やルートの変更、定期券の拡充、本年 4 月からは 75 歳以上の無料化等を行ってきているところです。昨年の状況を見ますと、利用者数は減ってきています。まっくんバスは減ってきていますが、定住自立圏で運行している伊那本線に利用者が流れていると思われるため仕方のない部分もあります。本日は、第 1 回目の会議となりますので、29 年度の利用状況を御説明申し上げ、御要望等を承る会議としたいと思っております。高齢化社会を迎え、地域の足をどうしていくかという課題がある中で、住民の皆さんにできる限り利用しやすいシステムを作っていかなければなりません。皆様の御意見御提言をいただければと思います。

3 自己紹介

4 副会長の指名 会長による指名。区長会長の田畑区長 三澤委員を指名

5 協議事項（進行：会長）

（資料により、事務局が一括して説明）

- （１）南箕輪村巡回バス「まっくんバス」の運行状況及び利用促進について
平成 29 年度の利用者は年間 12,812 人で昨年比 85%
利用者が減っている要因としては、伊那養護学校通学の利用者減と伊那本線バス利用に伴う減が挙げられます。
- （２）伊那地域定住自立圏における行政区域間縦断路線バス「伊那本線」について
平成 29 年度の利用者は年間 17,005 人。4 月の運行開始から徐々に利用者が増えてきている状況です。利用傾向を見ると、村内のバス停の中にも利用者数が多いものが複数あることから、ある程度の利用者がいると見ています。沿線住民とすれば、伊那中央病院やベルシャイン箕輪店へ直行で行けるバスができたので、利便性が上がったといえます。
- （３）地区からの公共交通への要望について
9 月を目処に、地区からの要望を取りまとめることとなりました。
（要望書を各地区委員へ配布）

（会長）事務局から説明を申し上げました。まっくんバスについては、なかなか利用状況は厳しいですが、この 4 月から 75 歳以上の無料化を始めたので 1 年間様子を見たいと思います。伊那本線については、当初の目的を達成できているのではないかと考えているところです。いずれの路線にしても多額の費用がかかっていますが、国からの補填があります。定住自立圏の事業としてはバス事業の他に病児病後児保育や子育て部門の施設利用を行っているところです。一括して説明を申し上げましたが、ご質問やご意見があればお願いします。

要望については、住民の皆さんからあればお出しをいただければと思います。バスについては様々な改正をしてきて現在に至っています。一番要望が多いのは自宅の近くで乗降したいというものですが、なかなか難しい状況です。ただ、降りるところはフリー降車というものもやっています。

生活の足の確保にはいろいろなものを組み合わせてやっており、今年から福祉移送サービスを拡充しました。議会からはデマンド方式はどうかという話もありますが、なかなか良い方策を見出せていない状況です。

（質疑）

（倉田委員）

75 歳以上は無料とありますが、何か証明書などが必要ですか。

（事務局）後期高齢者医療被保険者証を提示していただきます。

(4) その他

なし

6 その他

(三澤副会長) 委嘱の期間について2年間とありますが、来年の区長は私たちの
残任期間ということで、実質は1年間ということでよいでしょうか。

(事務局) そのとおりです。

(事務局) 次回については、31年度に向けての会議となります。要望内容にも
ありますが、準備をして10月もしくは11月に第2回目の会議を開催し、31
年度の方針についてご議論をいただくことになります。

7 閉 会 (三澤副会長)